

# 目次

---

## まえがき

1. 研究成果 .....	1
1.1 地球温暖化対策に関する研究 .....	3
1) 都市緑化樹木のCO <sub>2</sub> 固定量算定における精度向上に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	5
1.2 樹木の管理と更新に関する研究 .....	7
2) 街路樹の保全・再生手法に関する研究 【道路調査費】 .....	9
1.3 生物多様性の確保に関する研究 .....	11
3) 都市における生物多様性の確保に資する緑地の効果的な保全・創出方策に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	13
4) 地域性植物による緑化手法に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	15
5) 河川管理による外来植物の分布拡大抑制に関する調査 【河川事業調査費】 .....	17
6) 猛禽類等の生息環境の定量的な把握手法及び効率的な環境保全措置の検討 【道路調査費】 .....	21
7) 自然共生型社会の実現に向けた生物多様性の評価・予測モデルの開発と国土政策への反映 【科学研究費補助金】 .....	23
1.4 良好な景観の形成に関する研究 .....	25
8) 歴史的風致を支える伝統技術の効果分析及び活用手法に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	27
9) 質の高い道路空間の再編・利用に係る計画手法に関する研究 【道路調査費】 .....	29
1.5 公共空間の分析と計画に関する研究 .....	31
10) 人口減少や都市の縮退等に対応した緑の基本計画の策定技術に関する研究 【試験研究費】 .....	33

11) 公園緑地による防災・減災事例に関する調査 【国営公園等事業調査費】 .....	35
12) 都市公園の質的向上のための新手法に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	37
<b>2. 発表論文等*</b> .....	<b>39</b>
<b>2.1 論文・技術報告等</b> .....	<b>41</b>
1) 糞抽出 DNA 分析による個体識別法の道路環境アセスメントへの適用可能性 .....	43
2) 森林表土利用工による緑化のり面に成立した草本群落の6年間の変化 .....	53
3) マイクロチップを用いた小型サンショウウオ類のモニタリング技術 .....	60
4) 都市における生物多様性保全に向けた緑の基本計画策定手法の現状と課題 .....	64
5) 広域スケールでのオオタカの生息適地予測の有効性と空間的汎用性・地域性の課題 ...	68
<b>2.2 学会・シンポジウム要旨</b> .....	<b>73</b>
6) 都市化が生物多様性に及ぼす影響～都市化度×パッチ面積×分類群の交互作用～ .....	75
7) 歴史的風致維持向上計画認定都市における土木施設の整備実態と適用工法に 関する研究 .....	76
8) 平成23年東北地方太平洋沖地震による歴史的土木建造物の被災状況に関する調査報告 (その3) .....	78
9) Urban ecology in the Tokyo metropolitan area: spatiotemporal change of avian diversity during four decades .....	86
10) 鳥好きのためのGIS入門(その2) .....	87
11) 人口減少社会における都市緑地デザインと生態学の融合: 生物多様性に配慮した 地域づくりのために .....	88
12) 都市景観の向上に資する公園空間の高度利用方策に関する研究 .....	89
13) マイクロチップを用いたサンショウウオ類の生息環境評価と環境保全措置の 効果検証 .....	90
14) 趣旨説明: 都市の生物多様性を軸にした生態学と社会経済, 政策の融合にむけて .....	96
15) 都市の生物多様性保全政策の現状と今後の方向性 .....	97
<b>2.3 雑誌・特集記事等</b> .....	<b>99</b>
16) 都市由来植物廃材のエネルギー利用の現状と課題 .....	101
17) 災害に強い都市緑化樹木ー台風、津波災害による被害実態についてー .....	103
18) GIS と生息適地モデルによる広域スケールでの生物の生息環境の評価と地図化の試み .....	108

19) 歴史的な土木施設における伝統的工法の活用方策 ～歴史的風致維持向上計画認定都市の取組みを例に～ .....	112
<b>2.4 出典 .....</b>	<b>117</b>
<b>刊行資料（過去5年間） .....</b>	<b>121</b>

※第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。

